

レガシィのリコールについて

平成22年6月17日

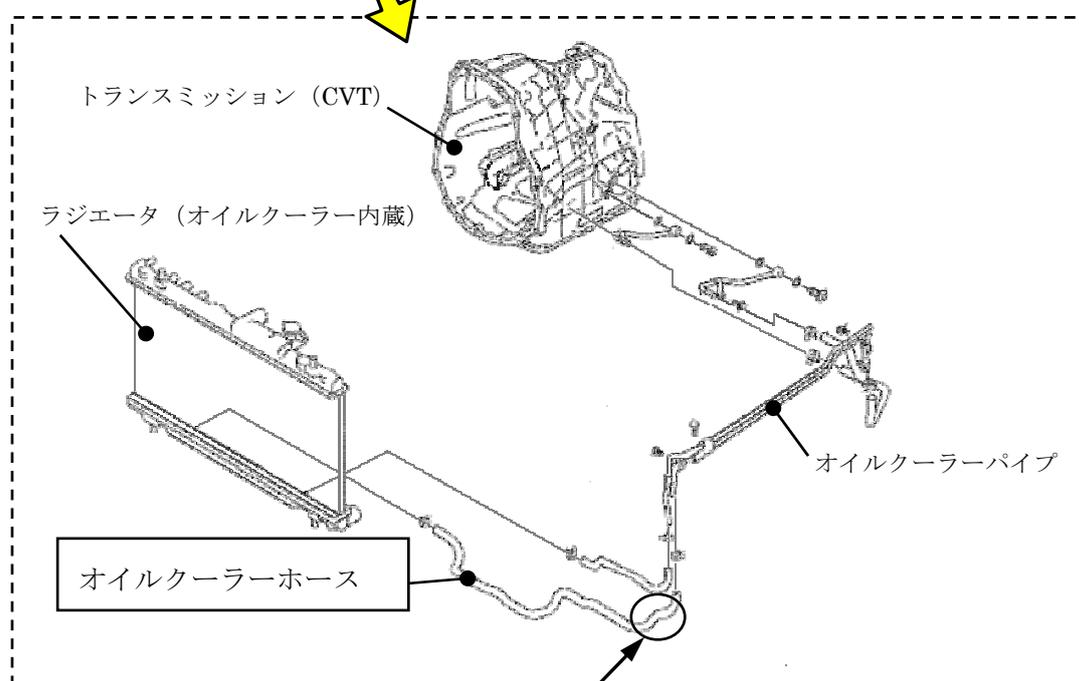
平成22年6月17日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2539	リコール開始日	平成22年6月17日
不具合の部位(部品名)	無段変速機(オイルクーラーホース)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	無段変速機(CVT)のオイルクーラーホースの製造過程の作業が不適切のため、ホースの内面にシワが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースの内圧により、シワを起点に亀裂が内面から外面に進展し、オイルが漏れ、最悪の場合走行不能になるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、オイルクーラーホースの製造ロット番号を確認し、該当するものはオイルクーラーホースを良品に交換する。		
不具合件数	1件	事故の有無	0件
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo. 2539のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	BM9-003991 ~ BM9-006928 平成21年 7月 3日~平成21年10月 5日	1, 657	
	DBA-BR9		BR9-006545 ~ BR9-014533 平成21年 7月 3日~平成21年10月 5日	5, 969	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成21年 7月 3日~平成21年10月 5日	(計7, 626台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

無段変速機(CVT)のオイルクーラーホースの製造過程の作業が不適切のため、ホースの内面にシワが発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースの内圧により、シワを起点に亀裂が内面から外面に進展し、オイルが漏れ、最悪の場合走行不能になるおそれがある。

改善内容

全車両、オイルクーラーホースの製造ロット番号を確認し、該当するものはオイルクーラーホースを良品に交換する。

識別

確認、交換を実施したオイルクーラーホースの表面に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	普通・乗用	箱型	EJ25(2,457)	
	DBA-BR9			ステーション・ワゴン	EJ25(2,457)	